

製品名: ABCG5 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM83069**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	72.5kDa

抗原情報

遺伝子名	ABCG5
別名	STSL
遺伝子 ID	64240.0
SwissProt ID	Q9H222
免疫原	大腸菌で発現したヒト ABCG5 (AA: 306-367) の精製された組み換え断片。

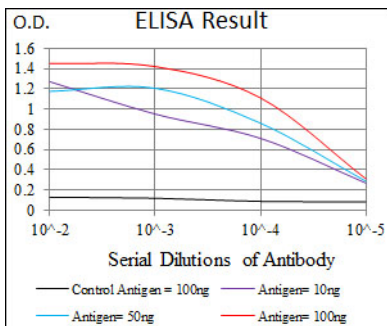
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ATP 結合カセット (ABC) トランスポータースーパーファミリーのメンバーです。ABC タンパク質は、細胞外膜および細胞内膜を越えて様々な分子を輸送します。ABC 遺伝子は、7つの異なるサブファミリー

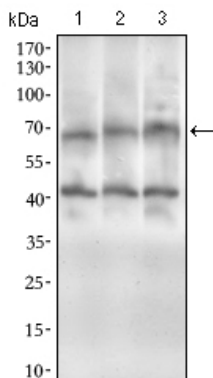
(ABC1、MDR/TAP、MRP、ALD、OABP、GCN20、White) に分類されます。このタンパク質は White サブファミリーのメンバーです。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、腸管吸収を制限し、ステロールの胆汁排泄を促進するハーフトランスポーターとして機能します。これは、肝臓、結腸、腸管において組織特異的に発現します。この遺伝子は、2番染色体上に、ファミリーメンバーの ABCG8 と頭対頭の向きでタンデムに配列されています。この遺伝子の変異は、ステロール蓄積およびアテローム性動脈硬化症に寄与する可能性があり、シトステロール血症患者で観察されています。

研究分野

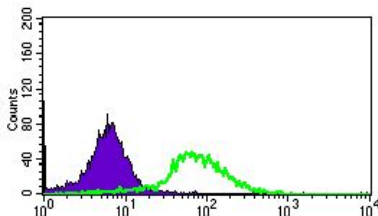
画像データ



赤：対照抗原（100ng）、紫：抗原（10ng）、緑：抗原（50ng）、青：抗原（100ng）、



HepG2 (1)、HeLa (2)、および Jurkat (3) 細胞溶解物に対する ABCG5 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



ABCG5 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。